

1, がん登録センターの ミッションと課題

2022年、がん登録センターは、“社会と協働して、エビデンスを創り、がん対策につなげ、すべての人に届ける”ことをその使命とする「がん対策研究所」の一部門となりました。現在は5室、約20名の職員に加え、数名の派遣、委託職員がそれぞれの業務に従事しております。そのミッションは、皆様をはじめとする国内外の機関と協力しながら、全国がん登録および院内がん登録を推進するとともに、がん登録の標準化と精度向上をはかりつつ、正確ながん統計情報を作成、発信することです。具体的には、年間100万レコードを超えるがん登録の収集、照合、集約、予後情報とのリンケージや、教育資料の作成、研修や認定試験の実施、利用申請の審査、提供用データ作成、集計値の公表など多岐に渡ります。加えて、ISMSによる認証を受けた管理体制のもと、安全でサステナブルなデータ基盤の運用、構築を推進しておりますが、インシデントや漏洩事案が生じぬよう、さらなる体制強化にも取り組んでおります。国立がん研究センターからはそれぞれ我々とは異なる部署（中央病院診療情報管理室 / 東病院がん登録推進室）より届出がなされておりますが、さらに連携を深め、実務者ゆえの視点、気付きについてもシステム開発や運用へ反映してまいります。

以上、様々な課題に対してセンター一丸となり取り組んでおりますが、日々生じる新たな課題に対して、迅速かつ柔軟に対応する人材がまだまだ不足しております。がん登録に深い見識をお持ちの方はもちろんのこと、組織をマネジメントする室長クラスやITベンダーと渡り合える方がおられましたら、ぜひご一報をお願いします。

全国がん 登録室 紹介



国立がん
研究センター
T O K Y O T S U K E N T E R U
がん登録センター

がん登録センターは、2016年の「がん登録等の推進に関する法律」の施行に併せて、国立がん研究センター内に西本寛先生を初代センター長（二代目：東尚弘先生、三代目：井上真奈美先生）として、東京は築地の地に誕生いたしました。周囲には、今でも観光客で大変な賑わいをみせている築地場外市場に加え、西に銀座、南に新橋と、リッチな朝食やランチから、好みの晩酌にも事欠かない素敵な立地にございます。未だ対面での研修や会合を控えざるを得ない状況ではありますが、お近くへお越しの際にはぜひ美味しいもので英気を養っていただき、ついぞとってはなんですが当センターにもお立ち寄りください。

2023,09 tokyo

2, がん対策におけるがん登録

第4期がん対策推進基本計画ではロジックモデルを作成し、がん対策における全体像の把握や評価を行おうとしております。がん登録はその指標となるデータソースとして期待されており、例えば、年齢調整罹患率や5年生存率は最終アウトカムに、検診がん種別の早期がん、進行がん罹患率などは分野別アウトカムに利用される想定です。がん登録自体も、その精度や年間利用件数を指標とするロジックモデルが想定されており、ますます身の引き締まる思いです。

関係各位の皆様には、我々の不手際や案内不足によりご迷惑、ご面倒をおかけして大変心苦しく存じますが、これからも皆様のお力添えを頂きながら、難しい課題にも一つ一つ取り組んでまいります。

「誰一人取り残さない」がん対策推進のため、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



撮影用に推しT着用のHD望月氏(左)、大庭氏(右)と筆者。
「全然引き締まってないではないか」というツッコミはご容赦ください。